

サワラの中間育成が始まりました！



漁業者、(独)水産総合研究センター屋島栽培漁業センター、香川県漁連、香川県水産試験場及び水産課が協力して、5月10・11・12日の夜間に、小豆島の地蔵崎南から東かがわ市の馬篠沖までの海域で、船上で採卵と人工授精を実施し、79万粒の受精卵を確保することが出来ました。

受精卵は、(独)水産総合研究センター屋島栽培漁業センターによって、23.2万尾が全長約36mmの種苗に育てられました。

そして、放流効果が大きく向上する大型種苗へ育てるために、6月9日にさぬき市小田の中間育成場へ10.2万尾、6月10日に高松市女木町へ2.7万尾と東かがわ市引田に0.6万尾をそれぞれの海面小割生簀へ移送しました。

その他、岡山県と兵庫県の各施設へも移送されました。

これから、大きく育てて、6月22日に高松市女木町、23日にさぬき市小田、24日に東かがわ市引田の順に、全長約100mmに成長した大型種苗を放流する予定です。

